

## 音楽科 学習指導案

県立野々市明倫高等学校・教諭

指導日時	平成17年6月14日(火) 第3限目
対象生徒	普通科 1年生 26人 (内訳 男子8名、女子18名)
教科名	音楽 I (単位数 2)
使用教科書	新高校の音楽 I 音楽之友社
副教材	コールユーブンゲン

1 題材名 「親しみやすい楽曲を歌い奏しよう」

2 題材の目標

- ①楽曲及びコールユーブンゲンの視唱・視奏を通してソルフェージュ能力を高めると共に、基礎的な歌唱法と器楽奏法を身に付ける。
- ②親しみやすい楽曲を通して、歌唱と器楽における相互の表現方法を味わい、曲の構成を理解すると共に、平易なハーモニーに対する感覚を養う。

3 指導に当たって

(1) 生徒の状況

比較的落ち着きを持ったクラスであり、授業に対する集中力もあるが、歌唱による表現は苦手とする面がある。また、リコーダーについては経験年数に個人差があり、全員が演奏を楽しむまでには至っていない。

(2) 指導方針・方法

- ・コールユーブンゲンを使用し、読譜力を身に付けさせ、ソルフェージュ能力を高める。
- ・全員が旋律とハーモニーパートの両方を練習することでハーモニーに対する感覚を養う。
- ・歌唱とリコーダーの相互的な表現方法の融合を図る。

(3) 教材選定の理由

- ・コールユーブンゲン :

段階を踏みながら各種拍子・音程・リズム等の習得ができ、またリコーダーの基礎奏法を学習する上でも適切である。

- ・Believe :

二度、三度音程をもとに楽曲が構成され、リズムも平易ながら親しみやすい旋律となっているため、基礎的な歌唱・合唱・リコーダー合奏の学習に適している。

4 題材の指導計画 (総時数3時間)

5 本時の指導計画 (第3時)

(1) 本時のねらい

「Believe」と「コールユーブンゲン」を通して、合唱と器楽合奏の表現活動を楽しみながら演奏することができる。

(2) 準備 自己評価カード

(3) 本時の展開 (3/3)

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・支援	評価規準 (観点・評価方法)
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声練習</li> <li>・本時の目標</li> </ul> 前時の復習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コールユーブンゲンを視唱し二度、三度音程を確認する。</li> <li>・Believe をハーモニーに意識を持ちながら合唱する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しく響きのある声で歌う。</li> <li>・合唱とリコーダーによる表現豊かな演奏法を身に付けることを知る。</li> <li>・コールユーブンゲンで、正しい二度、三度の音程を歌う。</li> <li>・三度の響きを活かし美しく調和するよう合唱する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢・発声法・声の響きに留意するように指導する。</li> <li>・合唱とリコーダーによる合奏をすることを伝える。</li> <li>・長短二度、三度の音程の違いを考えて歌うように指導する。</li> <li>・コールユーブンゲンで学習した二度、三度の音程に留意しながら歌うことを指導する。</li> </ul>	
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コールユーブンゲンをリコーダーで視奏する。</li> <li>・Believe の旋律パートをリコーダーで演奏する。</li> <li>・Believe のハーモニーパートを音名唱しリコーダーで演奏する。</li> <li>・Believe の楽曲構成を知覚しながらリコーダー合奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい運指でリコーダーを吹けるようにする。</li> <li>・フレーズや音型の違いをリコーダーで表現できるように練習する。</li> <li>・正しい運指で吹けるように練習する。</li> <li>・旋律とハーモニーパートを交代しながら交互に演奏し、三度のハーモニーを確かめながら練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運指とブレスコントロールによる音程に注意しながら吹くように指導する。</li> <li>・音程及び曲の構成とフレーズを考えながら吹くように助言する。</li> <li>・低音が豊かな響きになるような奏法の工夫について助言する。</li> <li>・三度のハーモニーを相互に聴き合いながら美しく調和するように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルトリコーダーの奏法に即した姿勢、呼吸法、運指を身に付けている。</li> </ul> (観点3：演奏聴取・観察)
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Believe を合唱・リコーダーに分かれて演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱とリコーダーのグループに分かれ、歌唱とリコーダーを交互に演奏する。</li> <li>・合唱とリコーダーが調和しながら一緒に演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いに聴き合い、ハーモニーやフレーズ感を揃えながら演奏するように助言する。</li> <li>・合唱とリコーダー合奏で互いに気づいたことについて発言させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Believe のイメージを表現するための姿勢、呼吸法、共鳴法等の発声の技術を身に付けている。</li> </ul> (観点3：自己評価カード・観察)